

NEWS RELEASE

7/16～7/19開催 はたらく現場の環境展（JIOSH+W）
にて商品をご紹介いたしました

近年、繊維産業はエネルギーや水等の使用による環境負荷が大きい、との指摘があり、特に資源循環を含む環境への取組みについては投資家や生活者からの関心が高まっています。

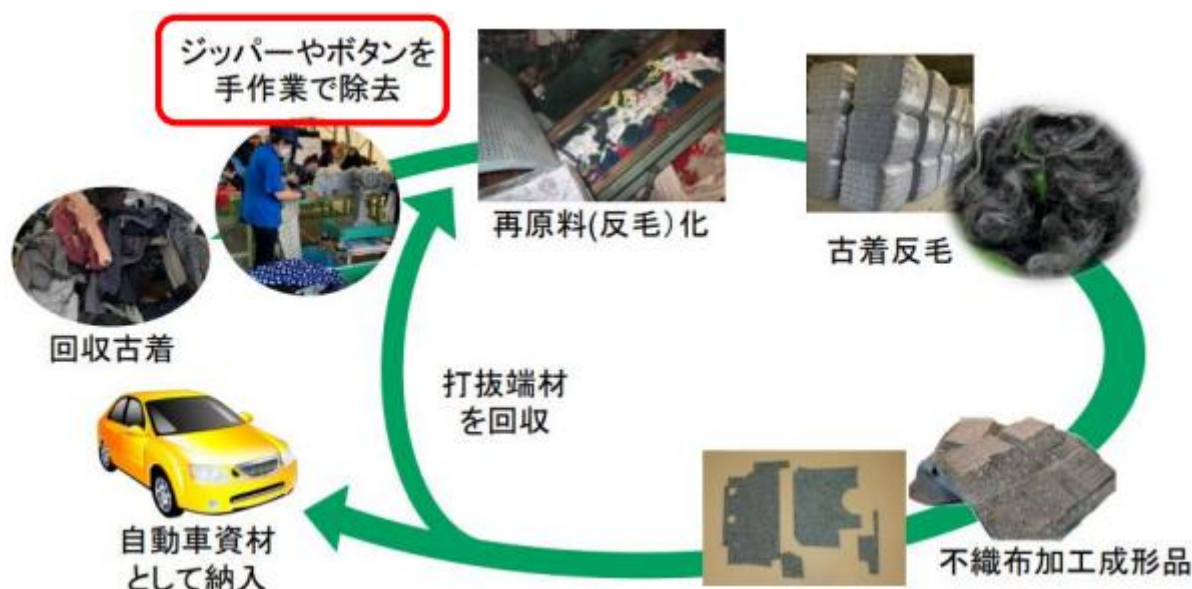
当社、株式会社エフアンドエイノンウーブンズ（以下、FANS）は、従来から一関工場（岩手県）において古着を再原料化し、自動車用部材に使用する取組みを行ってきましたが、ボタン・ファスナーの除去を人手に頼るため、コスト高となり処理量も限定されています。

この異物除去については、国内の資源循環システム構築上の課題として指摘されています。

そこで、FANSは、古着からボタン・ジッパー等の異物を人手を使わずに自動で除去する設備の本格稼働を開始いたしました。反毛繊維（※）の生産量は月産300トン进行想定しております。

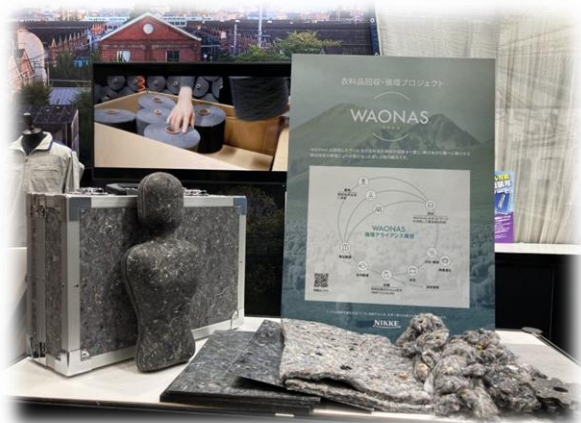
※ ウールや綿など不要になった製品や裁断くずを回収し、解毛機や反毛機にかけてわた状に戻した繊維のこと

現在、人手不足や人件費・物流費の高騰により古着の反毛事業者は減少傾向にあり、近隣に事業者が存在しない自治体では、引き取り手がいないため回収事業を継続することが困難になっている事例もあります。FANSは、日本で廃棄される古着のうち約40%が発生する関東圏において、石岡工場を古着の再生・反毛化処理の拠点とすることで、国内における繊維製品の資源循環システムの維持・強化に貢献できるものと考えております。



今回の展示会では、この反毛原料から製造した商品をご紹介します。

回収古繊維を反毛した素材から、多用途でお使い頂ける製品作りに組んでいます。



《本件に関する問い合わせ先》

FANS 営業本部東京営業部
RP（リサイクルプロジェクト）専任課長
高石 雄幸
TEL：（03）3862-7321